



まちづくりネットモニターの 調査結果を公表します

- ① 「大安場史跡公園の再整備等」
- ② 「東山霊園・東山悠苑」



ターゲット 16.6

2024年12月3日

郡山市政策開発部

広聴広報課

課長 家久来 淳

TEL：924-2068

SDGs ターゲット 16.6 「有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を發展させる」

2024年度まちづくりネットモニター（第9回・第10回調査）の調査結果をお知らせします。

① 「大安場史跡公園の再整備等」調査概要

第9回（8月20日(火)～29日(木)）

テーマ	大安場史跡公園の再整備等
目的	市民の皆さまのご意見をお聞きし、大安場史跡公園のサービス向上を図るため。
分析	<ul style="list-style-type: none"> ・大安場史跡公園の認知度は92.4%であり、知っている方の73.7%が来園している ・来園目的は公園利用や園内散策が半数以上 ・来園者のうち、72%がガイダンス施設を利用している ・増やしてほしいガイダンス施設の機能は、「学習スペース」が最も多い
今後の課題	大安場史跡公園の認知度は高い一方で、PR不足という意見もいただいております。来園者の増加を目指す上で、現在もSNSを活用した発信は行っているものの、更なる発信力の強化が課題である。ガイダンス施設の常設展示の展示内容については、現状の展示内容を望む声が多く、検討を進めた上で現在策定中の「史跡大安場古墳保存活用計画」に反映していく。
回答者数/率	367名（男性 155名 女性 211名 不明 1名） 89.3%
担当	文化スポーツ部 文化振興課 課長 鍋木 辰男 TEL：924-2668

② 「東山霊園・東山悠苑」調査概要

第10回（9月5日(木)～14日(土)）

テーマ	東山霊園・東山悠苑
目的	市民の皆さまの「お墓」への考え方や「東山悠苑」について感じていることや望んでいることを把握し、今後の施策に活かすため。



2024（令和6）年 郡山市は市制施行100周年!!

ひらけ 未来へ こおりやま

分析	<ul style="list-style-type: none"> ・お墓について「承継者はある・将来いる」との回答は 68.7%（2020 年から 2024 年にかけて 10.3 ポイント減少） ・新たにお墓を取得する意思があるとの回答は 9.7%で 2023 年の回答と比較し 14.9 ポイント減少しているが、取得を希望するお墓の種類として「樹木葬」が 11.4%と 2023 年の回答と比較し 3.5 ポイント増加している ・東山悠苑を将来改修する際の要望として「老朽化の改善」が 29.4%で最も多い
今後の課題	<p>新たにお墓を取得する意思があるとの回答は減少傾向にある一方、合葬墓と同様に使用権の承継や個人での管理の必要が無く、死後に関する価値観の多様化や自然に還るとの考えにも応える「樹木葬」の需要がこれから増加することが考えられることから、こうした市民ニーズを踏まえ東山霊園墓地の今後の整備方針について検討する必要がある。また、東山悠苑の施設について悪かった点がないと回答する方が半数近くを占める一方、老朽化の改善や通信環境の充実を要望する意見があるため、こうした意見を踏まえ 2023 年度に策定した長寿命化計画に基づき今後改修を行う必要がある。</p>
回答者数/率	371名（男性158名 女性212名 不明1名） 90.3%
担当	環境部 環境政策課 課長 大越 洋子 TEL：924-2738



調査結果は以下ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/23/4141.html>

<まちづくりネットモニター>

郡山市では、市民の皆さまの意見等をお聞きする取組みとして、様々な機会や方法等により実施しており、その一つとして、市民モニターの方々に御協力いただきインターネットを活用した市政アンケートを実施しています。

今回は、2024 年度第 9 回・第 10 回の調査となります。